

日本語の略語(2)

日常生活を改めて見直すと、略語が氾濫しています。

身近な「ケータイ」や「リモコン」のように、本来の言い方である「携帯電話」「リモートコントロール」の一部を省略した言葉を、「略語」と言います。本来の言い方を正式なものと考える人からは、略式で正しい日本語から逸脱していると見えるかも知れません。しかし、現実の日常生活を見てみると、略語なしではやっていけない現実のあることに気づかされます。略語は同じ内容をより短い語形で表現できます。効率的に情報伝達を行うにはとても好都合です。略語を作る目的は、長い

語を短縮することです。本来の語形を思い出せる最低限の長さが必要です。

外来語は長いので2拍から5拍になっていきます。

2拍||ロケーション、コ

ネクション、ストライキ

3拍||マイクrohon、アルミニウム、パンフレット

4拍||イラストレーション、リハビリテーション

5拍||コンタクトレンズ

ステンレススチール

通信販売、ウナギどんぶり、学生割引等のように前後の成分を2拍ずつ取ってまとめる略語がとても多いことが分かります。

一つ注意が必要です。

服装に正装と略装がある

ように法律や役所では、略語の「パワハラ」でなく「パワーハラメント」を採用している事実があります。

〇二月の言葉

やわらかい日差しが降り注ぐ日は、早春の兆しを満喫しよう。

〇語彙力チェック

①「多勢に無勢」の正しい使い方は次のどれか。

A多勢に無勢ありがたい。

B多勢に無勢とてもかなわない

C多勢に無勢とてもにぎやかだ

②「黄昏」の正しい読みは次のどれか。

Aひぐれ Bゆづぐれ Cたそがれ

③「蛇足」はどんなことのとえか。

A無駄なこと B気味悪いこと

C珍しいこと

④「三和土」の正しい読みは次のどれか。

Aはたき Bたたき Cかたき

⑤「たたずまい」とは何の様子を表したものか。

A人々の暮らし Bあたりの風情

C姿の美しさ

(解答) ①B ②C ③A ④B ⑤B